

知ってる?!

「福島県次世代育成支援 企業認証制度」



仕事と育児の両立支援に積極的に取り組む中小企業や、仕事と生活のバランスが取れる働きやすい職場環境づくりに向けて、総合的な取り組みを行っている企業を福島県が認証する制度。(福島県HPより)

「パパ・ママ育休プラス制度」

(育児・介護休業法 平成21年改正)



母親と父親が両方とも育児休業を取得する場合、「子どもが1歳2ヶ月に達するまで」の間に、1年間育児休業を取得可能とする制度です。平成22年6月30日に施行されました。

「ワーク・ライフ・バランス」


(仕事と生活の調和)



男女がともに、人生の各段階において、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など様々な活動について自らの希望するバランスで展開できる状態をいう。



社内に託児所をつくりたいー。



最初は悩みましたー。

【今後の展望や方針は？】

鈴木:再度アンケートをとって、社内の風土というものをもう1度確認していきたいと思います。これから少子高齢化が進むと、孫がいる社員のための育児休業も考えられます。いわゆる「育ジイ」ですね。

そしてやはり、いろいろな会社の取り組みを聞いて共有できる機会を設けることが大切だと思います。「うちの会社、こういう事をやっていますけど、どうですか」とかね。そういう形でお互いに情報交換しながらやっていければ、もう少しワーク・ライフ・バランスも進むと思います。

これは理想であって難しいとは思いますが、私は社内に託児所をつくりたいと思っています。親が勤めている会社内に託児所があれば、帰りの時間も心配しなくていいし、もっと仕事も打ち込んでやれると思います。

voice 育休パパの声

【育児休業期間と、取得のきっかけは？】

江尻:2人目の時に、2週間取得しました。きっかけは、幼稚園に通う1人目の面倒を見たかったからです。

【感想や周囲の反応は？】

江尻:妻がとても助かると喜んでいました。同じ業界の友人によると、男性の育児休業が取れないところがまだまだ多いようです。こういう話をすると、「お前の会社はいいな」とよく言われました。会社を休んで大変だったことは、特にありません。休んでいる時は、みんなでカバーしてくれました。

【今後も育児休業を取得したいですか？】

江尻:そういう機会があれば取ってみたいと思います。私は、入社14年目ですが入った頃には、育児休業はとでも考えられませんでした。その頃に比べれば、だいぶ会社の雰囲気も変わりました。

【普段の子育ての様子は？】

江尻:育児に関しては誰にも負けません!土日は、子ども2人を連れて公園に行ったり遠出したり、子どもと一緒に過ごしている時間の方が多いです。平日は、仕事が終わってから、お風呂に入れたり寝かしつけたりとかは当然やっています。どちらかというとかジメンというよりイクメンって感じです。

【これからの育休パパたちへ伝えたいことは？】

江尻:周りに育児休業取得者がいないということもあり、最初は悩みました。1回は上司に却下されましたが、英長さんの助けもあって認められたというのがありました。一度であきらめず、勇気を出して、「休ませてください」と言ったことで変わりました。

堀江工業株式会社 本社

所在地 〒970-8026 福島県いわき市平字尼子町60番地の1
TEL 0246-23-2311(代表)
業種 総合建設業
創立 1920年1月5日
従業員数 100名(女性12名2010年2月現在)
HP <http://www.horiekk.co.jp/>